

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	フロクキュレーション解析に基づく環境界面工学の展開
研究代表者	足立 泰久（筑波大学・生命環境系・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、コロイド界面における吸着などの化学的条件を把握し、同時に水理学的条件を取り入れた動的な凝集現象に関する体系的理論モデルを構築していくことを目的とする。これまで、応募者は水環境における水質の構造を理解していく上では、乱流状態と有機物の吸着が関与する凝集のダイナミックスの解明が重要であるとの視点から、世界を先導する成果を上げてきている。本研究を遂行し当該研究分野をリードしていくことにより、濃厚コロイドの分離技術、バイオフィームにおける微生物の凝集の特性、フィールドにおける凝集と沈降などの解明も期待される研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>